

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	講師
研究分野	・高齢者福祉 ・高齢者虐待防止 ・専門職連携教育 (IPE) & 専門職連携実践 (IPW)				
学位	修士 (社会福祉学)				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年 首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科 講師				
所属学会(役職)	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会 (IPW委員会)				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	地域包括ケアシステムにおける市民の役割 with 多職種連携	単著	埼玉県立大学WEB講座	小川孔美	2017.6
2	2017年度アドバンス講座テキスト—地域ケア会議編	単著	地域産学連携センター	小川孔美	2017.6
3	2017年度スキルアップ講座テキスト	共著	地域産学連携センター	小川孔美 上原美子	2017.7
4	「支え手」と「受け手」の関係をこえて	単著	広報こしがやお知らせ版平成29年(2017年)8月号, P12	小川孔美	2017.8
5	「虐待防止・身体拘束禁止」 「個人の権利を護る制度の概要」	共著	介護労働安定センター、 介護職員初任者研修テキスト, P28-40	小川孔美	2018.3
(2) 論文					
(3) 学会発表					
	意思決定支援 (Supported decision-making) Expressed Wish (表出された意思、心からの希望) と Best Interest (最善の利益) とは	単著	埼玉県立大学教育用 e-learning コンテンツ 成果報告会	小川孔美	2018.3
(4) その他					
1	意思決定支援 (Supported decision-making) Expressed Wish (表出された意思、心からの希望) と Best Interest (最善の利益) とは 教育用 e-learning コンテンツ DVD 作成				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団2017年度在宅医療助成 (前期)「地元医師会、行政を交えた顔の見える多職種連携研修会への助成」	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会 一積み重ねてきた地域ケア会議検討内容からの提案—研究代表 小川孔美		1年(2017年8月～2018年8月)	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	高齢者福祉論	2017.4～2017.8	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、介護保険制度の最新情報を取り入れた講義を展開		
2	社会福祉概論	2017.4～2017.8	対象が1年生のため、社会福祉の基本的概念が深まり、興味、関心が持てる内容を展開		
3					

(2) 演習				
1	社会福祉演習	2017.4～2017.8	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った	
2	社会福祉演習Ⅳ	2017.10～2018.2	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案(支援プログラム)の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。	
3				
(3) 実習				
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2017.10～2018.2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰで何を学ぶのか理解を深めるため、先輩の体験談を聞き、互いにディスカッションできる場を取り入れた。	
2	ソーシャルワーク実習	2018.2～2018.3	ソーシャルワーク実習に安心に取り組める環境づくりのため、実習指導者様との綿密な連絡、調整を行うとともに、学生とは、いつでも連絡をとりあえる状況とした。	
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2017.4～2017.6	ソーシャルワーク実習にて学んだことを、十分に言語化、表現し、自身の専門性の強化に繋がる助言指導を行った。	
4	IPW実習担当	2017.10	埼玉県立大学で深めてきたIPE,IPWの概念が伝わるよう、事前学習の内容をはじめ、現場で学ぶ内容を、施設ファシリテーターと相談しながら深めた。	
(4) 論文指導				
1	卒業課題研究指導	2016.4～2017.3	主指導:1名	
(5) その他				
1	サークル活動顧問(5サークル)	2016.4～2017.3	学生ボランティア団体MAGO、じゅげむ、卓球、ALS夜間介護ボランティア海、僕らの夏休みProject 5つのサークルの顧問として支援	
2	社会福祉士国家試験受験支援	2016.11～2017.3	社会福祉士国家試験受験のためグループ学習を希望する学生に過去問題の解説及び、最新の動向について指導した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学専門職連携・協働講座	埼玉県立大学	スキルアップ講座	2017.7
2	埼玉県立大学専門職連携・協働講座	埼玉県立大学	アドバンス講座 地域ケア会議	2017.6～2017.8
3	2017年度社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	実習指導概論 講師	2017.6
4	介護支援専門員更新(現任者)・専門研修Ⅰ研修	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	「介護保険制度及び地域包括システムの現状」	2017.7
5	第21回埼玉葛南専門職連携推進会議 埼玉県立大学 保健医療福祉専門職連携推進 第1回研修会	埼玉県立大学/ 埼玉葛南専門職連携推進会議	「入院から回復期を経て在宅まで」	2017.7.13
6	平成29年度IPW総合課程	埼玉県立大学	IPWの実践と専門職の役割⑧ 地域包括ケアシステムにおけるIPW実践例	2017.10
7	越谷市市政移動教室	越谷市	「あったかい介護をするためにー家庭と仕事と介護とわたしの人生」	2017.11
8	退院支援研修会	東京都リハビリテーション病院	退院支援における専門職連携	2017.12
9	第22回埼玉葛南専門職連携推進会議 平成29年度埼玉県立大学 保健医療福祉専門職連携推進第2回研修会	埼玉県立大学/ 埼玉葛南専門職連携推進会議	「地域ケアマネジメントと家庭医療学」～地域包括ケアと家庭医療学～	2018.1
10	荒川区介護サービス事業者研修業務委託研修会	荒川区&公益財団法人介護労働安定センター 東京支部	医療と介護の連携について	2018.2

11	社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	社会医療法人 河北医療財団	介護老人保健施設における多職種協働・連携のあり方	2018.2
12	平成29年度 さいたま・県央専門職連携推進会議&研修会	埼玉県立大学/さいたま・県央専門職連携推進会議	そこまでやるか！退院支援 —制度は後からついてこい！	2018.3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 地域ケア総合評価機構	理事		2011～現在
2	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会	世話人委員		2015～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	専門職連携を学ぶ講座実施部会			
2	地域産学連携委員会			
3	地域専門職連携推進部会 ・埼葛南専門職連携推進会議担当【オブザーバー】 ・さいたま・県央専門職連携推進会議担当			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			